

# 栄光の架け橋〜(特集)全十勝中学校スピードスケート選手権大会

## まずは北海道大会に向けて〜

12月2日(土)〜3日(日)に明治北海道十勝オーバルにて、第70回全十勝中学校スピードスケート選手権大会が開催されました。本校からは、男女計5名の選手が出場しました。

本年度より、学校対抗の要素がなくなり、距離のエントリーも制限が無くなりました。一人一人が自分の適性の距離の試走やチャレンジ等、目標をもって競技に臨みました。

特に、2・3年生は、昨年度と比べ、一回りも二回りも成長しており、タイムも伸びていました。

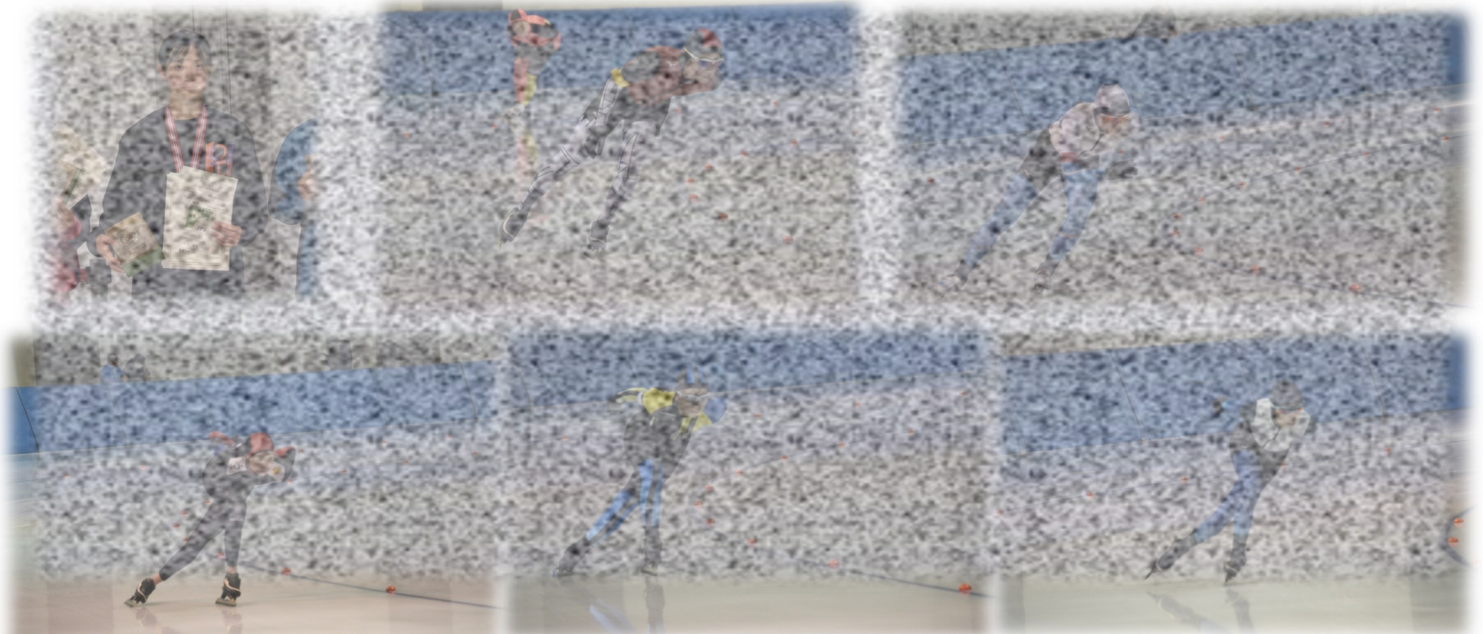
1年生島田さんは1500m〜2分17秒42(第7位)、1000m〜1分30秒08(第10位)

2年生長田さんは500m〜42秒03(11位)、1500m〜2分13秒43(第24位)、3000m〜4分48秒09(第24位)

2年生鳥毛さんは1000m〜1分36秒27(第23位)、1500m〜2分29秒54

2年生黒坂さんは2日目 1000m〜1分25秒55(第3位)、3000m〜4分39秒77(第1位) 【総合第5位】

3年生小原さんは500m〜2回目42秒31(第3位)、1000m〜2回目1分26秒76(第1位) 【総合第2位】



## 1月行事予定

- 1日(月) 学校閉庁日(〜3日まで)
- 5日(金) 北海道中学校スケート大会  
スピードスケート競技(〜7日)
- 12日(金) 定例職員会議
- 15日(月) 3学期始業式
- 16日(火) 校内新春席書大会
- 17日(水) 生徒会常任委員会
- 18日(木) 二計測(〜22日まで)
- 19日(金) まくべつ教育の日

- 22日(月) 分掌年度末会議(5時間授業)
- 23日(火) 学年年度末会議(5時間授業)
- 24日(水) 校内研修日(5時間授業)
- 26日(金) 新入生体験入学・保護者説明会



# しばざくら

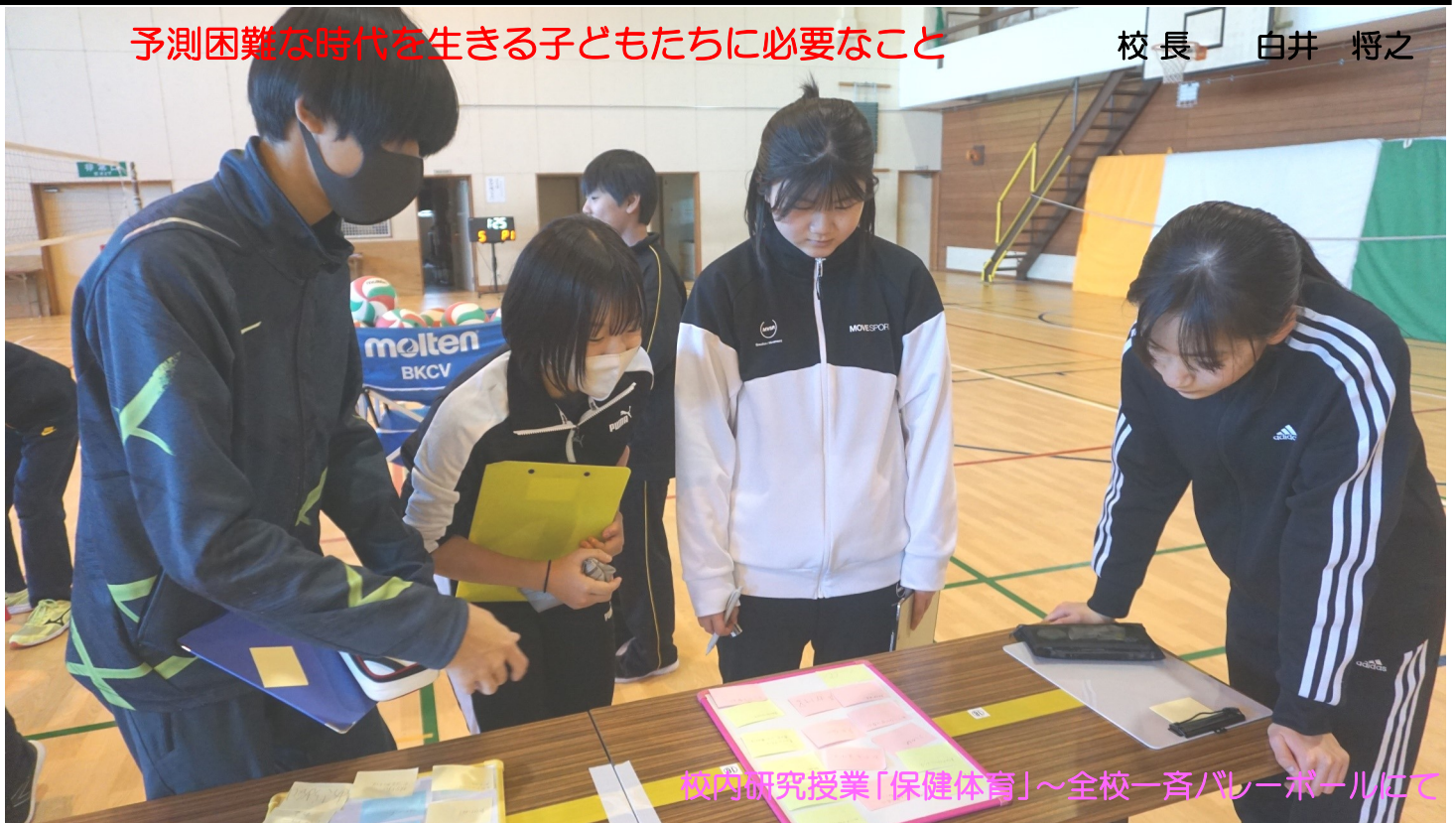
- 【教育目標】 「心豊かに たくましく 生きぬく生徒」
- 自ら学ぶ生徒
  - 人を思いやる生徒
  - チャレンジする生徒
  - ふるさとを愛する生徒



3年生 庄野さんの作品  
ペットボトルで「埴輪」を作りました。

予測困難な時代を生きる子どもたちに必要なこと

校長 白井 将之



校内研究授業「保健体育」～全校一斉バレーボールにて

早いもので令和5年卯(うさぎ年)も終わろうとしています。皆さんにとって、今年1年とはどのような年でしたか。日本漢字検定協会が毎年発表している、年の世相を表す今年の漢字一文字は「税」でしたが、学校教育を振り返ってみると、「暑」と答える方が多いようです。今年の夏の暑さは、例年にも増して猛暑が多く、熱中症アラート等が出され、部活動や大会が延期するなどの措置があったことを思い出します。

さて、本学園では、小中9年間を通じて身につけさせたい力(学力)を「見通す力」「コミュニケーション能力」「論理的思考力」の3つを重点に掲げ、各種教育活動にこの1年、取り組んでまいりました。この力は、予測困難な社会において、子どもたちが人間としてたくましく生きていく上で必要とされる力と考えています。昨年、小中学校の教職員が熟議を重ね、定めたものです。AIの凄まじい進化や情報化社会の中で、人間として豊かに生きていくために必要なことは何か。そのために、学校教育として果たすべき役割は何か。常に問われ続けています。

異なる価値観やものの見方・考え方の多様性等を認め合い・必要とされる時代の中、我々大人も同様のことが求められています。将来を見据えた俯瞰的な考え方に立ち、決めた枠の中で言うことを聞く子が良い子といった概念だけでなく、子どもの興味・関心を引き出し、主体的に生きていくことができる環境を整えることが重要だと思います。つまりは、大人や学校が与えるのではなく、子どもが自己選択・自己決定する機会をいかに保障するかが問われているように思います。そのためには、単に、子どもを放任するのではなく、様々な体験や経験、多様な価値観や考えに触れさせる機会を保障し、子どもたちが主体的に物事を考え、新たな価値や意味を他者と協働的な学びの中で生み出していく力を創造していかなければならないのではないのでしょうか？

最後に、本校では、今年1年も大きな事故や怪我もなく、穏やかに1年を過ごすことができました。これも、ひとえに地域住民・保護者の皆様方の日頃よりの学校教育に対するご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。次年度も引き続き、地域の学校として、子どもたちの学びを核としながらも、社会教育活動の活性化並びに地域づくりに少しでも寄与出来るよう精進して参りたいと思います。今年1年、有難うございました。新年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

# 「今年の冬もあっかいゾウ」！ 寒い冬を乗り切ろう



今年も、10月31日（火）に、忠類ナウマン象記念館前にある「ナウマン象の親子」に「地域女性グループ5人会」の皆様により編んでいただいたマフラーを本校の中学1年生と一緒に掛ける作業を行いました。

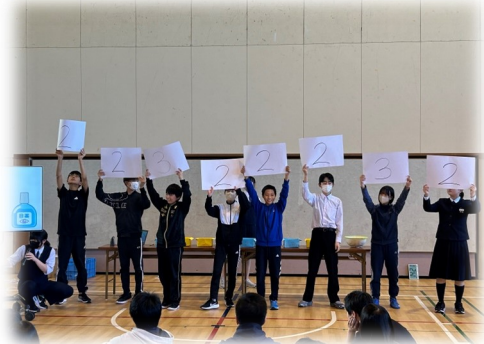
教育委員会からも、川瀬部長にお越しいただきました。毎年、素敵なマフラーを時間をかけて作成いただいています。このマフラーがけは、冬の到来を伝える忠類の風物詩になっています。

象の親子にそれぞれマフラーをかけ、今年の冬もナウマン象に健康で元気に過ごしてほしいと願いながら、子どもたち自身も寒い冬を乗り越える覚悟をもったところでした。

今年は、温かく・穏やかな天候の中で、楽しく作業を終えることができました。「5人会」の皆様方、毎年、素敵なマフラーを有難うございます。次年度も、どうぞ、よろしくお願いいたします。



## 生徒会チャレンジ企画：クリスマスイベント 開催



12月14日（木）に生徒会書記局が企画・進行を務め、全校クリスマスイベントを開催しました。これは、1学期に行った学校アンケートの生徒からの中で「異学年で交流できる機会がほしい。」という声があり、それを受けた生徒会役員がイベントの開催を自らの公約に掲げ、それを実行したものです。当日は、「忠類にまつわるクイズ」と「校内宝探し」で盛り上がりました。

企画段階では、しっかりとした企画書作成からスタート。当日を迎えるまでに、企画内容、時間設定やルール作りなど試行錯誤を繰り返してきました。自分たちの手でイベントを作り上げようとチャレンジする書記局4人の姿は大変立派でした。チーム分けでは、各学年がうまく混ざるようにアプリを使い、校内に隠した宝物には色別にポイントの差をつけて盛り上げるなど、たくさんの工夫が見られました。非常に良い経験を積んだと思います。今後の活躍にも大きな期待をしています。

全校生徒もとても楽しそうに参加し、異学年の交流を行うことが出ました。笑顔があふれる温かい雰囲気になれるイベントとなりました。



## 中学生の「税についての作文」幕別町長賞受賞！

全国納税貯蓄組合連合会および国税庁が主催する「中学生の『税についての作文』」において、本校より沼田旺助さんが幕別町長賞に輝きました。

税についての関心をもち正しい理解を深めることを目的に募集しているもので、3年生の社会科(公民)の時間で納税の学習を深める一環として取り組みました。納税の仕組みや税金が何に使われているのかを、中学生のうちから学ぶことで、大人への自覚につながることでしょう。14日(木)には飯田町長が来校され、直接賞状と記念品を渡していただきました。



# 総合的な学びの総括～「地域活性化案発表」

12月4日(月)に小中9年間忠類学園の総合的な学習の総括として、中学3年生が「地域活性化案」を発表いたしました。これまで多くの地域の皆様方にお力添えをいただき、ふるさとの産業や歴史、文化、更には地域の課題を踏まえながら、活性化案作成に向けて、他市町村のまちづくり計画等の取材や各関係機関の訪問を行いながら内容を深めてきました。幕別町そして忠類が、より豊かで住みやすく魅力的な地域となることをテーマに系統的且つ継続的に探究的な学びを行ってきた成果発表が今回の「活性化案」につながっています。

当日は、飯田町長、菅野教育長、加藤学校運営協議会長等、多くの関係者の皆様にお集まりいただき、子どもたちの発表を聞いていただくとともに、多くのご示唆をいただきました。中学生からのふるさとの良さや課題をとらえた視点から発表でした。この学習そのものは、地域活性化案を作成するといった目標はありますが、目的そのものではありません。学習の目的は、あくまでも、これからの社会をたくましく、自立して生きていく上で必要な力を身につけることです。巻頭言でも触れさせていただいた「見通す力」「コミュニケーション能力」「論理的思考力」を高めることで、学園として掲げている目指す子ども像「自ら学ぶ」「人を思いやる」「チャレンジする」「ふるさとを愛する」生徒へと成長することを目指しています。

今回、来場いただきました皆様から「地域づくりは、一人でも多くの地域住民を巻き込むかが重要である。」ことや、「イベントや事業を行うことは大変難しい。自分たちで楽しむことが大切。」「さらに、中学生の視点から掘り下げ方を工夫すれば、もっと様々なアイデアが生まれると思う」「中学生らしい夢の多いアイデアや発想を期待しています」等のご意見をいただきました。地域の皆様、3年間、本当に有難うございました。2年生も本発表会に参加しておりましたので、次年度の発表までの学習に生かしていきたいと思っております。



3年間の学びを発表



町長へ活性化案を提出



多くの皆様に参加いただきました

## 自らのアイデアをさらに磨いていこう ～2年 深掘り学習～

11月30日(木)に2年生が「深掘り学習」を行いました。一人一人が地域活性化案作成のテーマ設定を行い、課題探求学習として、町内の各種施設・事業所を訪問し、取材を行いました。個々に調べたいことを事前に整理し、訪問させていただく皆様に電話でお願いをするなどの手順を踏みました。この作業も学習の一つとして位置づけ、地域の皆様とつながりづくりをした上で、当日訪問いたしました。グループではなく、一人一人が訪問することに意味があり、誰にも頼りません。自分一人で訪問先の皆さんとコミュニケーションをとることになります。電話で依頼はしたものの、初めてお会いする方もいっしょに、少々緊張気味ではありましたが、貴重な体験の場となりました。地域の皆様は、子どもたちを本当に温かく受け入れていただき、丁寧でわかりやすく、質問に答えていただきました。また、地域に対する思いを語っていただいたことは、子どもたちにとって大変良い刺激となりました。大人の真剣さは子どもたちに、しっかりと伝わっていくものだ実感しております。子どもたちからも、「もっと時間がほしかった」「体験や見学等があれば良かった」などの振り返りもありました。お忙しい中、お時間をいただき、子どもたちも大変感謝しておりました。

今後、今回ご教授いただきました様々なご示唆を子どもたちは整理し、次年度の活性化案発表に向けて、更に、探究を続けていきます。引き続き、ご指導の程、よろしく申し上げます。この度は、関係者の皆様、誠に有難うございました。

